

シネマ

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

Ciné-là

2005

4/5

No.104

fiaf

国際フィルム・アーカイヴ連盟=FIAPFは
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAPFに加盟しています。



特集

生誕
100年
記念

小津安二郎と清水宏

日本を代表する監督小津安二郎と
再評価の気運が高まっている清水宏監督の特集。

上映
作品

有りがたうさん / 風の中の子供 / 按摩と女 / 蜂の巣の子供たち
小原庄助さん / しいのみ学園 / 生まれてはみたけれど
晩春 / 麦秋 / 東京物語 / 早春 / 秋刀魚の味



『早春』

収蔵映画特集



アン・ホイ監督と 香港映画

香港を代表する女性監督
アン・ホイの作品と香港映画の
秀作特集。

特集 韓国映画の巨匠



イム・グォンテク 監督特集

「酔画仙」で韓国で初めて
カンヌ映画祭監督賞を受賞した
イム・グォンテク監督作品を特集。



『玻璃の城』

上映作品

男人四十
シークレット
千言萬語
上海假期
父子情
ホームカミング
つきせぬ想い
玻璃の城



『酔画仙』

上映作品

望夫石(マンブソク) / 族譜
曼陀羅 / キルソドム
シバジ / 開闢
風の丘を越えて-西便制
太白山脈 / 祝祭 / 春香伝
酔画仙 / 下流人生

アン・ホイ監督と香港映画

会期:平成17年 休館日・休映日除く

4月1日(金)~10日(日)
香港を代表する女性監督アン・ホイ。
作品と香港映画の秀作特集。

男人四十

July Rhapsody

4月1日(金)14:00 4月9日(土)14:00

2001年 / 35ミリ / カラー / 103分 / 香港 / 日本語・英語字幕付き / 監督:アン・ホイ / 声:ジャッキー・チェン、カレナ・ラム
ラムは妻と二人の息子がいる40歳の国語教師。ある日チョイランという女生徒が彼にアプローチをかけてくる。ぱっとしない毎日を送るラムの心は揺れ動く。第21回香港金像賞で最優秀脚本賞と助演女優賞(カレナ・ラム)を獲得した秀作。



シークレット

The Secret

4月2日(土)11:00 4月7日(木)19:00

1979年 / 35ミリ / カラー / 89分 / 香港 / 日本語字幕付き / 監督:アン・ホイ / 出演:シルヴィア・チャン、テレサ・チウ
婚約中の若いカップルの死体が発見される。死んだはずの娘が、赤い上着姿で祖母の家に出没するとい噂が立つ。香港を代表する女性監督アン・ホイの記念すべき監督デビュー作で、香港ニューウェーブの到来を告げた作品でもある。



千言萬語

Ordinary Heroes

4月2日(土)14:00 4月8日(金)19:00

1999年 / 35ミリ / カラー / 128分 / 香港 / 日本語・英語字幕付き / 監督:アン・ホイ / 出演:リー・カンシヨ、レイチェル・リー
アトンはある日水上生活を送る家族の娘・ソウに出会う。ソウは社会活動家のヤウに想いを寄せていた。ソウが好きになったアトンは、次第にヤウの社会運動を手伝うようになる。70年代から89年の天安門事件まで、香港の社会運動の歴史を描いた社会派の力作。



上海假期

My American Grandson

4月2日(土)17:00 4月8日(金)14:00

1991年 / 35ミリ / カラー / 95分 / 香港・台湾 / 日本語・英語字幕付き / 監督:アン・ホイ / 出演:ボアン・クンシユエン、ウー・マー
クーさんは仕事を退職し、上海の共同住宅で暮らしていた。ある日アメリカに暮らす息子夫婦の子供を預かることになる。中国語を話せない孫とクーさんはことあるごとに衝突してしまう。文化摩擦をテーマとした心優しい交流の物語。



韓国映画の巨匠 イム・グォンテク 監督特集

会期:平成17年 休館日・休映日除く

5月13日(金)~28日(土)
「酔画仙」で韓国で初めてカンヌ映画祭監督賞を受賞したイム・グォンテク監督作品を特集。

風を丘を越えてー西便制

Sopyonje

5月18日(水)14:00 5月21日(土)14:00

1993年 / 35ミリ / カラー / 113分 / 韓国 / 日本語字幕付き / 出演:キム・ミンゴン、オ・ジョンヘ
韓国の伝統芸能パンソリの世界を描いた作品で、過去の興行記録をすべて塗り替える大ヒットを記録した作品。実際のパンソリの名手であるオ・ジョンヘの澄んだ歌声がイム監督の素晴らしい演出とマッチし、日本で劇場公開された韓国映画の傑作。



望夫石(マンブソク)

A Wife Turned to Stone

5月13日(金)14:00 5月21日(土)11:00

1963年 / 35ミリ / モノクロ / 123分 / 韓国 / 日本語字幕付き / 出演:イ・ギョンヒ、チェ・ナムヒョン
18世紀半ば、李朝の国王・英祖とその世継ぎにまつわる抗争を描いた作品。イム・グォンテク監督がまだ職人的な娯楽作品の監督であった時代の一本。「望夫石」とは夫を待ち続けて石になってしまった妻といふ意味である。



族譜

The Genealogy

5月14日(土)11:00 5月25日(水)14:00

1978年 / 35ミリ / カラー / 106分 / 韓国 / 日本語字幕付き / 出演:ハ・ミンジュン、チュ・ソンテ
日帝時代の韓国、韓国名を日本名に改める「創氏改名」に反対する地方地主ソルと、彼を説得しようと努力する日本人青年・谷の交流の物語。梶山季之の小説を原作としており、ソルの悲劇が日本人・谷の視点で描かれている。



曼陀羅

Mandala

5月14日(土)14:00 5月26日(木)19:00

1981年 / 35ミリ / カラー / 110分 / 韓国 / 日本語字幕付き / 出演:アン・ソンギ、チョン・ムソン
若い禅僧ポプンは仏教界に対する懐疑と煩惱に苦しんでいた。ある日ポプンは酒飲みで仏教界を痛烈に批判する僧ジサンに出会う。ベルリン映画祭で審査員特別賞を受賞し監督の名前を一躍高めた記念碑的作品。



キルソドム

Gilsodum

5月14日(土)17:00 5月26日(木)14:00

1985年 / 35ミリ / カラー / 101分 / 韓国 / 日本語字幕付き / 出演:キム・ジミ、シン・ソニル
主婦のファヨンは10代の頃故郷キルソドムで恋人トンジンの子供を産み、朝鮮戦争のため生き別れになった過去があった。ある日偶然トンジンと再会したファヨンは、二人で子供を探す旅に出る。南北分断の悲劇をテーマにした代表的な作品。



シバジ

Surrogate Woman

5月15日(日)11:00 5月27日(金)19:00

1986年 / 35ミリ / カラー / 93分 / 韓国 / 日本語字幕付き / 出演:カン・スヨン、イ・グスン
李朝時代、跡継ぎの生まれない家のために、正妻の了解の得て主人の子を宿すシバジ(代理母)という制度があった。貧しさからシバジとなった女性の悲劇を描いた本作で、主演のカン・スヨンはヴェネチア映画祭主演女優賞を獲得。



開闢

Kae Byok

5月15日(日)14:00 5月27日(金)14:00

1991年 / 35ミリ / カラー / 135分 / 韓国 / 日本語・英語字幕付き / 出演:イ・ドクファ、イ・ヘヨン
19世紀に朝鮮に起こった思想運動「東学」を描いた作品。人間の平等を説く東学は民衆の間に新興宗教のように広がり、政府の弾圧に対し農民は反乱をおこす。そしてついには日本軍の朝鮮出兵の口実となる。



太白山脈

The Taebaek Mountains

5月20日(金)14:00 5月22日(日)14:00

1994年 / 35ミリ / カラー / 168分 / 韓国 / 日本語・英語字幕付き / 出演:アン・ソンギ、キム・ミンゴン
日帝時代が終了してから、1950年に朝鮮戦争が始まるまでの混乱した時代を描いた作品。韓国南部の町ブルキョを舞台として政府軍と共産勢力の争いが展開される。イデオロギーに翻弄された民族の悲しみを描き出し、イム監督が鎮魂の想いを込めた傑作である。



祝祭

Festival

5月19日(木)19:00 5月28日(土)11:00

1996年 / 35ミリ / カラー / 100分 / 韓国 / 日本語・英語字幕付き / 出演:アン・ソンギ、オ・ジョンヘ
ソウルに住むジュンソブは母危篤の知らせを受け、田舎に帰る。まもなく母は息を引き取り、それから3日間におよぶ伝統的な葬式が始まる。葬式の手順がまるで民俗映画のように描かれるが、その中に生きること、死ぬことに対する監督の考えが込められている。



春香伝

Chunhyang

5月19日(木)14:00 5月21日(土)17:00

2000年 / 35ミリ / カラー / 121分 / 韓国 / 日本語・英語字幕付き / 出演:チョ・スンウ、イ・ヒョジョン
李朝時代、地方を治める郡守の息子モンニョンと、美しい娘チュニヤンとの身分を越えた純愛を描いた作品。「パンソリ」の語りに沿って物語が展開するという独特の手法が用いられており、まるで韓国版のミュージカル映画を彷彿とさせる傑作。



酔画仙

Chihwaseon

5月20日(金)19:00 5月28日(土)17:00

2002年 / 35ミリ / カラー / 117分 / 韓国 / 日本語・英語字幕付き / 出演:チェ・ミンシク、アン・ソンギ
1850年代、李朝末期の韓国に実在した天才画家、チャン・スンオプの波乱に富んだ人生を描いた作品。権威に媚びず酒を愛した孤高の画家をチェ・ミンシクが見事に演じる。韓国映画界初のカンヌ映画祭監督賞に輝いた傑作。18歳未満の方は鑑賞できません。



下流人生

Raging Years

5月22日(日)11:00 5月28日(土)14:00

2004年 / 35ミリ / カラー / 105分 / 韓国 / 日本語・英語字幕付き / 出演:チョ・スンウ、キム・ミンソン
50年代末。高校生テウンは喧嘩に明け暮れる毎日だった。その後ヤクザになったテウンは激動する時代の中で、様々な仕事をしながらのし上がっていく。50年代末から70年代の韓国社会を描きながら、当時の映画業界が描かれている点が非常に興味深い。



観覧料:500円(大人)400円(大学生・高校生)300円(中学生・小学生)

定員制・各回入替制 チケットはすべて当日券。前売り券はありません。障害者の方は無料。市内の65歳以上の方は半額(手帳の提示が必要です)

父子情

Father and Son

4月6日(水)14:00 4月10日(日)11:00

1981年 / 35ミリ / カラー / 96分 / 香港 / 日本語字幕付き
監督:アレン・フォン / 出演:シー・レイ、リー・ユイティエン
60年代の香港。うだつの上がらない父親は息子に夢を託して勉強させようとするが、息子の夢は映画館の案内係になることだった。父親と息子のすれ違いをノスタルジーを込めて描いた秀作で、香港ニューウェーブの代表的な作品。



ホームカミング

Homecoming

4月7日(木)14:00 4月10日(日)14:00

1984年 / 35ミリ / カラー / 97分 / 香港 / 日本語字幕付き
監督:イム・ホー / 出演:スーチン・カウ、ジョセフィン・ク
香港に住むジャンジャンは祖母の墓参りで20年ぶりに中国南部の村に里帰りをした。都会での生活に疲れたジャンジャンは幼なじみと旧交を温めるが、彼女の居場所は村にはもうないのだった。大陸と香港の微妙な関係を描いた秀作。



つきせぬ想い

C'est la Vie, Mon Cheri

4月3日(日)14:00 4月9日(土)17:00

1993年 / 35ミリ / カラー / 99分 / 香港 / 日本語・英語字幕付き
監督:イー・トシシ / 出演:アンタムイ、ラウ・シン・ワン
キットは腕の良いサクソ奏者だったが、彼の音楽は理解されなかった。キットは、街頭で広東オペラを演じる元気な娘のミンと出会い、二人は愛し合う。しかしミンはガムに犯されてしまう。香港で大ヒットした純愛ドラマの傑作。



玻璃の城

City of Glass

4月3日(日)11:00 4月9日(土)11:00

1998年 / 35ミリ / カラー / 111分 / 香港 / 日本語・英語字幕付き
監督:メイベル・チャン / 出演:レオン・ライ、スー・チー
70年代の香港。大学時代に恋人同士だったラファエルとヴィヴィアンは20年ぶりに再会する。映画は大陸返還を目前にした97年の二人の子供達の物語と平行して、ノスタルジー溢れる70年代の恋愛ドラマを描いていく。



生誕100年
特集 記念

小津安二郎と清水宏

休館日・休映日除く
会期:平成17年4月27日(水)~5月12日(木)
1903年生まれの小津安二郎と清水宏。自然や子どもを愛し、ロケを好んだ清水と、計算され尽くした演出と独自のスタイルによって、人生の機微を描いた小津。全く異なるタイプであり、性格も全く異なる二人は助監督時代からの親友でもありました。戦前から「天才」として高く評価され、生誕から100年以上たった現在もなお高い評価を得ている二人の監督の代表作を併せて特集します。

有りがたうさん

4月27日(水)14:00 5月4日(水・祝)11:00

1936年 / 35ミリ / モノクロ / 76分 / 松竹
監督:清水宏 / 主演:上原謙、桑野通子

川端康成の原作を清水宏が脚本、監督した作品。「有りがたうさん」というあだ名で親しまれている南伊豆を走るバスの運転手と、そのバスに乗り合わせた人々の人間模様を描いた作品。戦前の清水の代表作のひとつとして70年代に再評価された。



風の中の子供

4月28日(木)14:00 5月4日(水・祝)14:00

1937年 / 35ミリ / モノクロ / 86分 / 松竹 / 監督:清水宏 / 主演:河村黎吉、葉山正雄、爆弾小僧

原作は東京朝日新聞に掲載された坪田稔治の児童文学。小学校五年生の善太と一年生の三平の父親はある日会社を首になり、警察に連行される。母親は三平を叔父の家に預けるが…。国内での評価も高く、1938年のヴェネチア映画祭にも出品された清水宏の代表作。



按摩と女

4月28日(木)19:00 5月5日(木・祝)11:00

1938年 / 35ミリ / モノクロ / 66分 / 松竹 / 監督:清水宏 / 主演:高峰三枝子、徳大寺伸

新緑の美しい湯治場で客を取る按摩の徳市と福市。ある日、東京からきてこの湯治場に宿をとった女性に徳市が呼ばれる。目の不自由な徳市は女が何か日くりげなことを見抜くが…。清水宏の作品の中でももっとも清水らしく、またもっともユニークな作品。



蜂の巣の子供たち

4月29日(金・祝)11:00 5月5日(木・祝)14:00

1948年 / 35ミリ / モノクロ / 84分 / 蜂の巣映画部 / 監督:脚本:清水宏 / 主演:島村俊作、夏木雅子

復員兵の島村は下関の駅で「叔父貴」と呼ばれる男の手下となって盗み働いている孤児たちと出会う。彼は孤児たちに働くことの大切さを説き、一緒に旅するようになる…。個人出資で製作され、清水が実際に引き取っていた孤児たちと素人の大人が出演した彼の代表作。



小原庄助さん

4月29日(金・祝)14:00 5月7日(土)11:00

1949年 / 35ミリ / モノクロ / 91分 / 新東宝 / 監督:清水宏 / 主演:大河内傳次郎、風見章子

民謡「会津磐梯山」の中に出てくる「朝寝、朝酒、朝湯が好きでそれで身つぶした」小原庄助。これを地で行く人物を時代劇の大御所、大河内傳次郎が演じたユーモア溢れる傑作。撮影はロケに徹し、築三百年以上の旧家が主人公の家として使用された。



しいのみ学園

4月30日(土)11:00 5月7日(土)14:00

1955年 / 16ミリ / モノクロ / 100分 / 新東宝 / 監督:清水宏 / 主演:宇野重吉、香川京子

自らの子供が小児麻痺に冒され、私財を投じて設立した肢体不自由児のための学園「しいのみ学園」を設立した心理学者の山本三郎。その体験を綴った手記をもとに清水宏監督自らが脚本から手がけた作品。



生まれてはみたけれど

4月30日(土)17:00 5月8日(日)11:00

1932年 / 35ミリ / モノクロ・サイレント / 松竹 / 監督:小津安二郎 / 主演:斎藤達雄、菅原秀雄、突貫小僧

サイレント時代の小津の代表作の一つ。この作品の前から、戦後の一連の小津作品に通じる主題が見受けられるようになっている。中堅サラリーマンの二人の息子からみた大人社会がほろ苦く描かれている。



晩春

4月30日(土)14:00 5月7日(土)17:00

1949年 / 35ミリ / モノクロ / 108分 / 松竹
監督:小津安二郎 / 主演:笠智衆、原節子

原作は広津和郎の「父と娘」だが、設定や結末が大きく変更されており、ほぼオリジナルといえる。また戦後小津作品の方向性を決定づけた。その意味において小津映画の中でも最も重要な作品といえる。



麦秋

5月1日(日)11:00 5月11日(水)14:00

1951年 / 35ミリ / モノクロ / 125分 / 松竹
監督:小津安二郎 / 主演:笠智衆、原節子

「晩春」と同じ鎌倉を舞台にした家族の物語であり、やはり一家の中の年頃を少しすぎた娘の結婚話が主題となっている。晩春が父と娘の関係に焦点を絞っているのに対し、ここでは三世同居の家族が描かれ、基調を同じいしながらも全く異なる主題を持つ。



東京物語

5月1日(日)14:00 5月8日(日)14:00

1956年 / 35ミリ / モノクロ / 136分
監督:小津安二郎 / 主演:笠智衆、原節子

東京に出て行った息子、娘たちのもとを訪ねて尾道から老夫婦が上京するが…。崩壊してしまった親子、家族の姿を完成された演出と映像美で描いた、戦後の小津安二郎の代表作にして、日本映画を代表する名作。



早春

5月3日(火・祝)14:00 5月12日(木)14:00

1956年 / 35ミリ / モノクロ / 144分 / 松竹
監督:小津安二郎 / 主演:池部良、淡島千景

戦後の小津作品としてはもっとも作品時間が長い作品。東京蒲田の集合住宅に住む若い夫婦が主人公という設定も戦後の小津作品としては珍しい。昌子と正二の夫婦は子供が病死して以来、ギクシャクしていた。そんなある日、正二は通勤仲間の千代と関係を持つてしまう…。



秋刀魚の味

5月3日(火・祝)11:00 5月11日(水)19:00

1962年 / 35ミリ / カラー / 113分 / 松竹
監督:小津安二郎 / 主演:笠智衆、若下志麻

小津安二郎最後の映画作品。設定や娘の縁談話をめぐる筋立てなど「晩春」とかなり酷似しているが、親娘の関係性などには大きな違いがある。この作品は単なる焼き直しではなく、むしろ10年の間に変わっていった家族や親子のあり方を見つめ直した作品ともいえる。



おすすめ

韓国映画の巨匠
イム・グォンテク
監督特集

風の丘を越えて

西便制

5月18日(水)14:00
5月21日(土)14:00

韓国映画の巨匠として世界に確固たる評価を確立したイム・グォンテク監督には「太白山脈」「祝祭」「春香伝」「酔画仙」など多くの傑作があります。しかし日本国内において一躍監督の名前を知らしめた作品として「風の丘を越えて—西便制」をあげないわけにはいきません。

旅回りのパンソリ芸人ユボンは、孤児のソンファとドンホにパンソリの芸を仕込んでいきます。ソンファには歌を、ドンホには太鼓を。しかしドンホは貧しい生活に耐えられず逃げ出します。ショックを受けてソンファは歌えなくなります。ユボンはソンファの歌に「恨」を込めさせるため、ソンファに毒を飲ませて失明させます。ソンファの歌はこのことで素晴らしい芸へと変わっていきます。

この作品が公開されると韓国全土で300万人の観客が見たといわれ、過去の興行収益をすべて塗り替えただけでなく、伝統芸能の復興ブームさえ起きました。現在世界で注目される韓国映画ですが、その基礎を築いた作品といっても過言ではないでしょう。伝統芸能パンソリの世界を、素晴らしい映像と完成度で描き出したアジア映画の傑作です。

インフォメーション

シナリオニュース送付のご案内

定期購読ご希望の方に毎月シナリオNEWSをお届けしております。購読を希望される方は、平成17年6月号～平成18年4月号までの郵便切手(90円×11ヶ月)を同封の上、下記宛先へお申込ください。

宛先:

〒814-0001福岡市早良区百道浜3-7-1 福岡市総合図書館 映像資料課

ビデオ編集技術研究室のご案内

ビデオ研究室では、家庭で撮影されたビデオ(Hi8・DV)や各行事の記録ビデオの編集などに利用できます。(使用料1時間500円、連続使用3時間迄)詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで

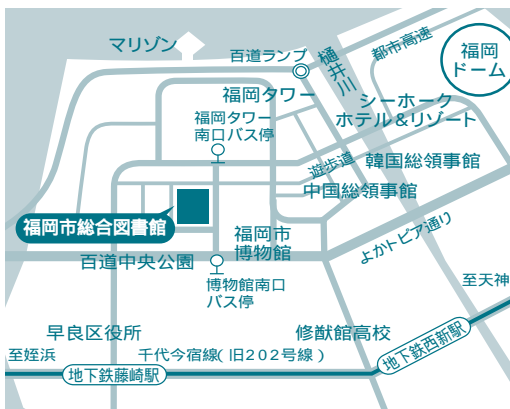
自主上映のお知らせ *詳細については、直接主催者にお問い合わせください。

5月29日(日)福岡映画サークル2005年第3回例会

クジラの島の少女【11:00】【14:00】

観覧料/前売:1,200円 当日:1,400円 シニア:1,000円

主催/福岡映画サークル協議会(TEL092-781-2817)



交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄:
西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス:
天神～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間:昼間で約20分)
博多駅～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間:昼間で約25分)
福岡タワー南口バス停から徒歩3分

いずれも、昼間は10～15分間隔で運行されていますので大変便利です。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話:733-3333)に直接お問い合わせください。

公共交通機関ご利用のお願い

駐車場は図書館利用者の共用であり、映像ホール専用の駐車場はありません。駐車スペースに限りがあり、常時混雑しておりますので長時間の駐車はご遠慮いただいております。できるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。土日祝日のご利用や1日に複数回の映画をご覧いただく場合などは、特にご協力をいただきますようお願いいたします。

4月上映スケジュール

Schedule

1	金	アン・ホイ監督と香港映画	【14:00】男人四十
2	土		【11:00】シークレット 【14:00】千言萬語 【17:00】上海假期
3	日		【11:00】玻璃の城 【14:00】つきせぬ想い
4	月		休館日
5	火		休映日
6	水		【14:00】父子情
7	木		【14:00】ホームカミング 【19:00】シークレット
8	金		【14:00】上海假期 【19:00】千言萬語
9	土		【11:00】玻璃の城 【14:00】男人四十 【17:00】つきせぬ想い
10	日		【11:00】父子情 【14:00】ホームカミング
11	月		
↓			
26	火		映像ホール・シネラは 機器メンテナンスのため休映します。 (4月11日～4月26日)
			福岡市総合図書館は 特別整理・点検のため、休館します。 (4月11日～4月21日)
27	水		【14:00】有りたうさん
28	木		【14:00】風の中の子供 【19:00】按摩と女
29	金(祝)		【11:00】蜂の巣の子供たち 【14:00】小原庄助さん
30	土		【11:00】しいのみ学園 【14:00】晩春 【17:00】生まれてはみたけれど

5月

Schedule

1	日		【11:00】麦秋 【14:00】東京物語
2	月		休館日
3	火(祝)		【11:00】秋刀魚の味 【14:00】早春
4	水(祝)		【11:00】有りたうさん 【14:00】風の中の子供
5	木(祝)		【11:00】按摩と女 【14:00】蜂の巣の子供たち
6	金		休館日
7	土		【11:00】小原庄助さん 【14:00】しいのみ学園 【17:00】晩春
8	日		【11:00】生まれてはみたけれど 【14:00】東京物語
9	月		休館日
10	火		休映日
11	水		【14:00】麦秋 【19:00】秋刀魚の味
12	木		【14:00】早春
13	金		【14:00】望夫石
14	土		【11:00】族譜 【14:00】曼陀羅 【17:00】キルゾム
15	日		【11:00】シバジ 【14:00】開闢
16	月		休館日
17	火		休映日
18	水		【14:00】風の丘を越えて—西便制
19	木		【14:00】春香伝 【19:00】祝祭
20	金		【14:00】太白山脈 【19:00】酔画仙
21	土		【11:00】望夫石 【14:00】風の丘を越えて—西便制 【17:00】春香伝
22	日		【11:00】下流人生 【14:00】太白山脈
23	月		休館日
24	火		休映日
25	水		【14:00】族譜
26	木		【14:00】キルゾム 【19:00】曼陀羅
27	金		【14:00】開闢 【19:00】シバジ
28	土		【11:00】祝祭 【14:00】下流人生 【17:00】酔画仙
29	日		自主上映【福岡映画サークル2005年第3回例会】
30	月		休館日
31	火		休館日

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表)092(852)0600 映像資料課092(852)0608 Fax.092(852)0609

福岡市総合図書館ホームページアドレス <http://toshokan.city.fukuoka.jp/>

デザイン/株式会社 ホワイトスペース
印刷/株式会社 九州カスタム印刷

2000 古紙配合率80%再生紙を使用しています。